

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	研修内容の充実(保育所)						掲載ページ		
							94		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		4,406	千円	4,507	千円	施策名	就学前教育	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	施設長や保育士等の資質向上のため、北九州市社会福祉研修所の研修について、その効果を検証しながら内容等の検討を行い、一層の充実を図ります。具体的には相談技術、児童虐待問題、情報化や国際化等の研修を充実します。また、市内外で行われる専門研修に積極的に参加します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	新任・中堅・主任級研修や課題別(言葉・表現・健康)研修、保育ゼミナール、乳児保育、統合保育、カウンセリング研修、心理学、施設長研修等全17項目を、延べ日数71日、参加人数1,617名で実施します。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	施設長や保育士等の研修の実施		72 日	71 日	71 日	100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	
	施設長や保育士等が研修を受けることで、資質の向上につながると考え、研修実施の延べ日数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)							活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
							順調	
(最終目標と最終年度)								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画した17項目(延べ日数71日 参加人数1,617名)の研修を年度内に履修しました。また、研修プログラムの改編や講師の変更等を行いました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	北九州市福祉事業団に委託された社会福祉研修所は、長年の実績があり優れた研修のノウハウを持っています。同コストで今まで以上の研修を企画・実施することは困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
研修生のアンケートを基に、プログラムの改編、講師の変更を実施し、研修内容の充実を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	児童福祉施設第三者評価事業						掲載ページ		
							94		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,136	千円	2,551	千円	施策名	就学前教育	担当課	保育課 子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	「第三者評価事業」参加施設数(総数:保育所分のみ)	148 施設	160 施設	150 施設	93.8 %	大変順調	
	福祉サービスの質の向上と、利用者への事業者選択情報の提供が必要と考え、「第三者評価事業」参加施設数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 参加施設数の増加 (平成26年度)						
	「第三者評価事業フォローアップ研修会」開催	実施	実施	実施	順調	やや遅れ	
市内認可保育所の施設長、保育士を対象に「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催し、「北九州児童福祉施設等評価基準(保育所編)」の活用について理解を促進し、事業参加への動機付け及び保育の質の向上を図ることが必要と考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市内認可保育所について、通常評価2施設、再評価(三年次評価)7施設の第三者評価を実施しました。児童養護施設等については、6施設が受審しました。また、「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催したことから順調としました。(平成27年2月23日) 本事業は、事業者の提供するサービスの質の評価を行うとともに、サービスの利用を予定している方に対して適切・円滑にサービスを利用できるよう情報提供を行うものであり、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	北九州市の保育の質の向上に最適な事業であり、また、低コストで経済的・効率的に実施しており、コスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>保育所について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため、第三者評価事業の一層の普及を図ります。また、市内認可保育所の施設長、保育士を対象に「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催し、「北九州児童福祉施設等評価基準(保育所編)」の活用について理解を促進し、事業参加への動機付け及び保育の質の向上を図ります。</p> <p>児童養護施設等については、3年に1回の受審が義務付けられているため、今後も計画的に受審を進めていきます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	幼児教育の振興						掲載ページ
							94
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		222,630 千円	606,621 千円 ※私学助成事業及び施設型給付事業の総額。本事業はその一部	施策名	就学前教育	担当課	幼稚園・こども園課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	本市では、幼稚園児の約98%が私立幼稚園に通っており、幼児教育における私立幼稚園の果たす役割はますます重要となっています。そのため、私立幼稚園の設備や備品等の購入や教諭の質の向上を図る研修を実施することにより幼児教育の充実を図るものです。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園に対して助成を行います。 内容としては、私立幼稚園設備や備品、教材等の購入、園庭の芝生化、特別な支援を要するなど幼児教育環境の整備のほか、教諭の指導力、資質の向上を図るための研修の実施等を予定していません。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	私立幼稚園振興助成補助金の活用園	96園 (全園)	全園	94園 (全園)	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	幼稚園施設の設備や備品、教材等の購入などにより幼児教育環境の充実につながるため、指標としました。 (最終目標と最終年度) 全園(平成26年)					
						順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	幼児教育振興助成は、施設の設備や備品・教材等の購入など全幼稚園で活用され、また、幼稚園の園庭芝生化も新たに2園で実施しました。 さらに、福岡県の補助金の対象とならない私立幼稚園に対し、特別な支援を要する園児の支援事業補助を行うなど、幼児教育環境の充実に寄与したことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各私立幼稚園の設置者が補助金の申請及び支給等に関する事務を北九州市私立幼稚園連盟に委任して行うなど、申請及び支給等の事務の効率化に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
今後も、本市の幼児教育における私立幼稚園の役割が重要になるものと考えており、私立幼稚園への助成制度を継続し、幼児教育の振興を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	私立幼稚園における学校評価の実施						掲載ページ
							94
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	就学前教育	担当課	幼稚園・こども園課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	幼児がより良い教育を享受できるよう、学校評価(自己評価)を通して、学校の教育活動その他の学校運営の改善を図ることが必要です。また、評価結果等を広く保護者等に公表することにより、地域に開かれた学校づくりを行っていく必要があります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	私立幼稚園連盟からの働きかけを通じて、学校評価(自己評価)及び学校関係者評価の実施を促進します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	私立幼稚園の学校評価(自己評価)の実施	82 園	94 (全園) 園	83 園	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	教育活動やそのほか幼稚園の運営状況について自己評価を行い、その結果を公表することが法令上義務付けられているため、全園で実施する必要があることから、目標として設定しました。 (最終目標と最終年度)全園(平成26年度)			98.8 %		
	学校評価(自己評価)に対する関係者評価の実施	47 園	75 園	46 園	順調 やや遅れ	順調
幼稚園自身の評価だけでなく、外部の評価も必要と考えており、概ね8割程度の実施を目指すことから、指標としました。 (最終目標と最終年度)80園(平成27年度)	61.3 %			遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	学校評価(自己評価)を通して、学校の教育活動その他の学校運営の改善を図ることが必要であり、平成26年度は平成25年度に比べ1園増加しました。全園実施にはいたっていないものの、ここ数年、着実に増加していることから、順調としました。今後も、学校評価(自己評価)の全園実施に向けて働きかけを行っていくとともに、関係者評価(外部評価)の実施も促していきます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各幼稚園内部における自己評価等のため、事業費は生じていません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
学校評価(自己評価)の実施については、私立幼稚園連盟の理事会や研修会の機会をとらえて啓発に取り組むとともに、私立幼稚園連盟からも未実施の幼稚園に働きかけてもらうなどの対応を検討します。また、学校関係者評価(外部評価)の実施も促していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	新しい時代に対応した公立幼稚園における教育の推進						掲載ページ		
							95		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		142	千円	292	千円	施策名	就学前教育	担当課	企画課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	本市全体の幼児教育水準の維持・向上のため、公立幼稚園としてのあり方を見直し、先導的な研究実践に取り組みます。また、その役割を果たすために、必要な園数で運営します。なお、研究実践活動での成果は、私立幼稚園も対象とした各種研修会等で発表を行うとともに、開発した教材を私立幼稚園や保育所などへ積極的に発信するなど、広く本市幼児教育全体の充実及びその普及に努めます。			活動実績	公立幼稚園において教育・研究実践活動を行うとともに、その成果を各研修会等で発表するなど、教育内容の充実及びその普及に努めました。 また、教育・研究実践に取り組むために必要な体制の見直しについて、教育委員会会議の場での検討を開始しました。	
活動計画	公立幼稚園において教育・研究実践に取り組むとともに、その成果を各研修会等で発表するなど、幼児教育の充実及び研究実践成果の普及に努めます。また、研究実践園としての役割に応じた体制の見直しを行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	研究実践の実施及びその成果の普及		-	実施	実施	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	研究実践を担うために必要な園数について検討を行います。 (最終目標と最終年度)						
	体制の見直し		-	見直し	見直し	順調 やや遅れ 遅れ	順調
研究実践園としての役割に応じた体制の見直しを行います。 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	公立幼稚園において研究実践活動を行うとともに、その成果を各研修会で発表するなど、教育内容の充実及びその普及に努めました。 また、公立幼稚園のあり方(研究実践園としての役割に応じた体制の見直し)について、教育委員会会議の場での検討を開始しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	経済的、効率的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
本市幼児教育の発展及び教育水準の維持・向上に資するため、教育・研究実践に取り組みます。また、教育委員会会議で決定した「公立幼稚園の今後の方向性」に従い、体制の見直しを進めます。